



<2021年5月号>

167号 2021.05.06 配信

新緑の美しいころとなりましたが、新型コロナウイルス感染症は収束の様子がみえず、変異株が猛威をふるって来ました。東京、大阪、京都、兵庫には3度目となる緊急事態宣言が発令され、5月を迎えました。外で過ごすのに気持ちのよい季節ですが自粛生活をしなければならない辛さがあります。ワクチンに希望を託し、一日も早い収束を願って過ごしてまいりましょう。

## ■同窓会だより

- ◆祝 2021年春の叙勲 本学卒業生 馬場あき子氏が旭日中綬章を受章されました。
- ◆2021年度 第1回 同窓会委員会 5月11日(火) 14:00～ (Zoom)
- ◆全国支部長会  
5月15日(土) 10:30～ (Zoomによるリモート会議)
- ◆第48回光葉同窓会総会  
5月16日(日) 11:00～12:00 会場がグリーンホールから本部館大会議室に変更になりました。
- ◆2021年度 第1回 ワーキングネットワーク委員会 4月17日(土) Zoomにて行われました。  
前回2月より時間を延長し、委員の方々の意見を聞くことができました。

## ■学園だより

- ◆昭和女子大学創立 101 周年記念式  
5月1日(土) 10:45～ 学園イメージソング「For Our Dreams」のミュージックビデオが大学HPに公開されました。同窓会も参加しております。
- ◆昭和女子大学創立 100 周年記念特別講座「昭和女子大学の未来とビジョンを語る大会議」  
5月1日(土) 13:10～14:40 対面とオンラインによるハイフレックス開催。  
「キャリア」「グローバル」「健康」をテーマに在學生と卒業生、教員がともに女性の生き方、昭和女子大学の未来について考えました。
- ◆【管理栄養学科】管理栄養士国家試験、合格率 94.4%を達成  
参考: 全受験者の合格率 64.2% 管理栄養士養成課程新卒者の合格率 91.3%
- ◆【大学院生活機構研究科】環境デザイン研究専攻の學生が「第27回ユニオン造形デザイン賞」1等を受賞しました。
- ◆【思い出の昭和女子大学・三軒茶屋写真展～100年分の輝きとともに、ネクストステージへ～】  
本学 100年のあゆみを学園保管の写真や卒業生提供の写真とともにたどります。あわせて三軒茶屋の移り変わりも紹介します。  
【開催期間】2021年5月14日(金)～6月20日(日)  
【開館時間】午前10時～午後5時 【休館日】土・日曜日 ※5/16(日)・20(日)は開館  
【開催場所】昭和女子大学7号館1階 光葉博物館  
【主催】学校法人昭和女子大学 【企画担当】100周年事業企画委員会写真展担当
- ◆【近代文化研究所】『国会議事堂の誕生 仮議事堂からの5代にわたる建築史(1886～1936)』出版。 著者:堀内正昭(近代文化研究所客員研究員・元大学院生活機構研究科教授)

## ■ 広げよう光の葉

勝見 美子 さん (旧姓 神村良子) 1962年 日本文学科卒(ボストン支部)

光葉同窓会メールマガジン 164号(2021年2月号)に「坂東眞理子理事長・総長のインタビュー記事が、ダイヤモンドオンラインに掲載」とあり、web page を覗いて見ました。志願者4倍に! 「昭和女子大学」の文字が躍るではありませんか。坂東眞理子理事長・総長のアイディアと、先生の「昭和女子大学」に対する熱意の賜物と。先生が、次世代の若者はこうあらねばと思い描いておられた事が、実を結んだのでしょう。私が数年前坂東先生の著書「70歳のたしなみ」を読みました時も、80の声をきいた自分が、未だ何ができるかを考えなければと、どこかで興奮している自分に気が付いた事を思い出します。

2018年9月 ボストン校設立30周年記念式典の連絡を受けた折、我が家から2~3時間で行けるというので、夫と出席致しました。その折、幸いにも坂東眞理子先生にお会いすることができ、お話しする機会を得まして、今も印象深く思い出します。「坂東先生です。」と紹介され、「初めまして。先生のご事はテレビで幾度か拝見しました。」に答えて、「昭和女子大学で、役立ったことは何ですか。」といきなりの質問に、はてさて、「控えめの美德でしょうか」と、返しました。「控えめ」であることは、他へ悪感を与えず、知らない事でも微笑んでいればごまかせるという、得することもあります。私は人見圓吉先生や、保坂都先生の授業を受けた学生です。昭和女子大学を卒業した女性は、しとやかで、芯の強い、控えめな女性に育って欲しいと、当時の世(大学)は願っておられたはずで。女子は、たおやかなる美しさを持ち、平安の美女の美しさを内に秘め、そして、それをそこはかたく表すことに、美しき女性美を描いておられたと思います。しかし志願者4倍!は、格別のお喜びがあらうかと思ひます。

さて、今日の女性は、寿命は100歳まで、旅は宇宙旅行の時代です。人として男女を問わず、責任を持ち、あらゆる分野で能力を高め極めて、人の役に立つことを積極的に行うべきだと思います。

私は、夫の転勤で1980年ニューヨークから帰国、子供の学校現場(横浜市)を見て、帰国子女教育の必要性を感じ、「国際理解教育研究会」を設立、横浜市立小・中800校に外国人教師をセット致しました。その頃、JET(Japanese Education Teacher)募集がはじまり、文部省も英語圏から若い教師を募集して、日本中にセットアップして、助けて下さいました。

1992年から、昭和女子大学で頂いた書道免許で、ニューヨーク日本人学校や、Sarah Lawrence Universityで教鞭をとりました。家庭では、書道教師として今日に至っています。

ご参考までに、

私の国際理解教育実践論 (株)愛育社発行 2012年 勝見美子著

海外生活と家庭教育 (株)ぎょうせい発行 平成6年版 研究委員 文部省著作権所有

ニューヨーク書道家100人集「100 New York Calligraphers」 Cynthia Dantzie 著に選ばれました。

【End】